



東埼玉テクノポリス

Now

2022年

1

月号

東埼玉テクノポリス協同組合 広報

発行責任者 和佐見 勝

編集責任者 上田 昭彦

謹賀新年



年頭へ挨拶

東埼玉テクノポリス協同組合
理事長 和佐見 勝



新年あけましておめでとうございます。
皆様には、健やかに新春を迎えられたことと、お慶び申し上げます。日頃より当協同組合に対するご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

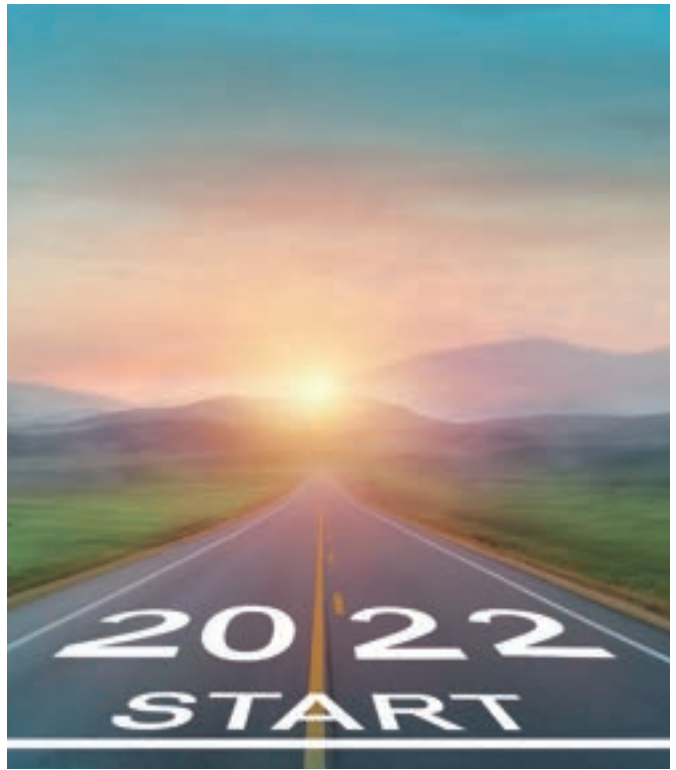
当組合は本年、工業団地開設25年・協同組合創立20年を迎えます。組合事業ならびに組合青年部の活動は各種行事や研修会などを通じ世代間連携と同時に次世代を担う若手人材の研鑽、異業種交流の場となっており、これも偏に組合員企業皆様のお力添えがあつてこのことと感謝申し上げます。今後の新型コロナウイルス感染症状況によりますが、今秋に記念式典並びに交歓行事を開催す

る計画をしております。組合員皆様には本年も引続き変わらぬご支援をお願い申し上げます。

昨年2021年は東京で57年ぶりのオリンピック開催となりました。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的流行を受け1年延期して開催され、205の国と地域から約11,000名が参加し19日間競技が行われました。無観客開催は残念でありましたが、多くの大会関係者やボランティア、医療関係者らが協力し、毎日の検査や陽性者の隔離、選手の行動管理などを徹底し感染予防対策を心掛けたことで、選手らの感染爆発や競技不成立の続出などは起きず、我が国は国別金メダル獲得数でアメリカ、中国に次ぐ過去最多の第3位、全メダル獲得数でも第5位と日本人選手の大活躍がありました。お家芸の柔道や野球、ソフトボールの金メダル獲得はもちろんです。なかでも印象的なのはスケートボード、自転車BMX、バスケットボールの3×3、スポーツクライミングといった「都市型スポーツ」でした。24年パ

り大会ではブレイクダンスが採用されるとのことです。時代の変化⇨新たな生活スタイルに沿う都市型スポーツ採用はオリンピック競技も伝統的なスポーツだけでは生き残れない危機感と進取が必要と考えているからでしょう。

新型コロナウイルス禍(感染者数)は昨年7月から9月にかけてこれまでの3倍近い感染者を発生させた第5波を迎えました。その後の新規感染者数は減少の一途をたどり10月には緊急事態宣言が全面的に解除され、東京都では10月17日以降の新規感染者数が50人を下回る日が続いています。ただこれほどの感染縮小の理由ははつきりしていません。日本は5月前まで略0%のワクチン接種率が全国民2回接種率77%(12月10日現在)に達し現在は主要国トップクラスにあります。これは世界に先駆けワクチン接種先行したイスラエルや欧米先進国を凌駕し、新規感染者数も米国・英国・ドイツ等に比べ100分の1以下となっています。またシ



ンガポールや韓国は日本を超えるワクチン接種率にもかかわらず新規感染者数・死者数は未だ増加傾向にあります。日本は早い段階で「3密(密集・密接・密着)回避」に気付き、国民の高い対策能力や協調性、従順さが組み合わさった結果と、日本人は昔からワクチンだけに頼ろうとせずに普段の生活に清潔を保つ・感染抑制行為を積み重ねてきたことだと思えます。新たな変異株のオミクロン株は昨年11月下旬に南アフ

リカ共和国で最初に発見され、これまで約2年間の新型コロナウイルス流行のなかで最も分岐が進んだ変異株であり、感染力がこれまでのデルタ株より強い可能性が指摘されています。忘れてはいけないのは僅か3か月前まで日本が医療崩壊の危機に瀕していた事実です。世界は今、この新変異への警戒を強めています。コロナによる未曾有の危機はどこにも去っていませんので気を緩ませずに向き合っていきましょう。

11月の岸田政権発足から3か月となろうとしています。先の衆院選では、与野党ともに大物議員の落選という意外な結果が散見されたものの、事前の報道のように野党共闘を受けて自民党が大幅に議席を減らすといったことはなく、絶対安定多数を維持することとなったことは、現下の日本を取り巻く内外重要課題へ早期対応が急がれるところであり安堵するところです。岸田首相は「新しい資本主義」の実現⇨①成長と分配の好循環と②コ

ロ後の新しい社会の開拓⇨をコンセプトとし、所信表明演説や内閣官房ホームページで公開しています。日本は未だ低い潜在成長率、コロナ禍で顕在化したデジタル化対応の遅れ、非正規・女性の貧困、気候変動など経済社会の持続可能性の確保、テクノロジを巡る国際競争の激化、中間層の伸び悩みや格差の拡大などの渦中にあります。気がかりなのはオミクロン変異株による感染再拡大の懸念に加え、米国のインフレ経済・金融政策変更や中国の「共

同富裕」政策への転換など世界経済の不安定化とともに、一方で急激な経済正常化に伴う人手不足深刻化や、供給網の混乱などが挙げられます。国内及び世界で起こっている情勢には経営判断の舵取りに注意が必要などところだと思います。



さて当組合における主な活動は、一昨年に続き新型コロナウイルス感染症拡大を受け大幅に縮小せざるを得ない状況となっております。ただ年次通常総会では中止する訳にいかず上部団体の中央会助言に従い、5月に理事全員出席で「総会」として最小限開催し昨年度決算および本年度予算の承認等を行いました。昨年度に引き続き視察研修ならびに新年賀詞交歓会は中止し、原則として各種スポーツ大会・行事等の開催を断念いたしました。ただ本年度は活動を前進させる初の試みとして、5月に青年部主催の「オンライン運動会」を実施し8企業29名の方々に参加頂きました。また9月～10月初旬にかけて新型コロナウイルスワクチン接種会場を提供し、市内商工業者にも機会を提供して1,700名余の方々にワクチン接種を実施することができました。※接種に係る医療関連費用は埼玉県から全額助成を受けています。



11月には新型コロナウイルス感染症防止の緊急事態宣言解除を受け、2年振りに理事長杯ゴルフ大会(参加者はワクチン2回接種者限定・感染予防対策万全に)開催いたしました。また同月末には職域接種の経験を活かして組合員企業皆様対象とした季節性インフルエンザウイルスワクチン予防接種の職域接種を旭地区センターで開催しました。この接種費用の個人負担分は2,000円に抑えて本年度各種活動中止分経費を充てて実施いたしました。

12月には地区センターに隣接するローソン前のT字路に信号機が設置となり、稼働は年明け早々の予定にあります。これは組合が5～6年前から横断歩行者の安全確保のために吉川市並びに吉川警察署に要請してきたところですが、やっと念願がかなった事になります。

毎月の組合理事会には吉川市と松伏町から商工担当部署の役職者に出席頂いており、情報交換と意見具申を行っております。新型コロナウイルス感染症対策の事業継続補助金・支援金交付について組合員企業へ広報・利用促進に努めました。組合会議室には、組合員相互のコミュニケーション活性化と、非接触・リモートワークに対応すべくWeb会議用システムを購入・設置しております。組合員企業の皆様には大いに活用頂ければと存じます。また組合では、行政関連団体が主催する技能取得に係る研修受講に対する補助金交付を行っております。対象となる研修再開の折には補助金交付を引き続き実施して参りますので、是非ご活用頂きたいと思っております。

2022年の日本経済はワクチンの普及で経済正常化が進展し、年度前半には感染拡大前の経済水準に到達することが期待されています。回復ペースは緩やかなものと思われませんが、新政権の経済対策とともに脱炭素やデジタル化・Society、リスク耐性強化の設備投資など、新時代に対応・前進する活動が必要な局面にあると思います。

本年は「寅年」です。先が見えにくい時代だけに、睨みを効かせた虎のように物事の動きを慎重に見極め、動くときは一気に

力強く対応していきたいものです。我々企業経営者はこれまで外部要因に伴う経営環境の変化に柔軟に対応し、企業価値創造と共に雇用を守り創出して地域経済発展や社会貢献に尽力して参りました。これからも組合での出会いを御縁に共助・相互研鑽の精神で果敢に取り組み参りましょう。

この新しい年が組合員企業経営者および社員ご家族皆様にとって、より佳き年になるよう心より祈念致しまして、私からの年頭挨拶とさせていただきます。



東埼玉テクノポリス協同組合
 青年部 部長 近藤 旭
 (株式会社マルシン 代表取締役)



新年明けましておめでとうございませう。皆様方におかれましては健康やかに新しい年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

とはいえ、昨年同様、今年も中々健やかに新年を迎える雰囲気でないのも事実です。昨年度は新年早々8日より一都三県でコロナ禍で二度目の緊急事態宣言が発令されました。全国各地で緊急事態とまん延防止がほぼ通年続いているような状況下は9月末まで続きました。この間、飲食業や観光業を中心に、様々な産業で打撃を受けました。また、半導体の不足や原油や素材価格の上昇は世界景気をより冷え込ませました。

アメリカにおいては4年ぶりに政権が民主党に移りました。

かしながら今回の選挙では米国の根強い民族差別主義が浮き彫りになり、国論が真つ二つに分断されました。バイデン政権には適切な舵取りを期待したいのですが、米国外に目を向けると中国や世界各地の反民主主義は日増しに勢いを増しています。米軍が撤退した後のアフガン、ニスタンやロシア・ウクライナ情勢・ミャンマー国軍によるクーデター・中国による新疆ウイグル自治区の人権問題や香港への強硬介入などは、事態を深刻化させています。そして特に危機的なことは、既に2019年から民主国家が非民主国家を下回り、2020年からは様々な国際組織で民主国家が非主流に転落して多数決で負ける、という事態に陥っていることです。民主政治の代表的な決定手段である「多数決」が、専制国家に主導権を奪われるという何とも皮肉なニュースは、戦後、民主主義を掲げる我が国も対岸の火事ではありません。

そんな中、日本の政治は、昨年初相が交代したと思えば、またすぐ新しい首相・内閣になるなど、不安定さが目立つようにな

りました。このような危機下で、日本だけがトップが替わり、政治不信は益々強くなつていきます。子供を持つ家庭への給付金問題も所得制限や配布方法に疑問符が付きます。国家がどこまでの困った人に手を差し伸べるかなど、目指す国家像の曖昧さ、抜本的な税金や年金改革に

は手を付けたくない政治や官の思惑が透けて見えるようでは日本は世界から取り残され、益々没落していくのではないのでしょうか？

しかしながら、やはり今年もスポーツがこんな暗い世の中を明るくしてくれました。宣言下での東京五輪開催は賛否あつたものの、アスリート達は多くの感動を見せてくれました。歴代最多の五十八個のメダル獲得は人々に自信をくれました。松山英樹は日本人男子初のメジャー制覇をマスターズで果たしてくれました。女子も稲見萌寧も賞金女王になり、五輪銀メダリストにふさわしい活躍を見せてくれました。全米オープンを上最年少で制覇した笹生優花もいて日本のゴルフ界は明るいですね。でもやはりひときわ輝いていたのは、やはりメジャーリーガーの大谷翔平でしょう。日本人初の満票MVPは我々の誇りであり、毎朝見るアメリカからの中継が我々の暗い気分を変えてくれたのは言うまでもありません。アスリートたちには今年もいいニュースを届けてもらいた

いものです。

記念すべき十期目を迎えますが、昨年は一昨年に続いてコロナの影響ではば何もできない状態でありました。しかし昨年最後によりやくゴルフ大会を開催出来ました。2月にはバドミントンが今の所控えております。withコロナでの開催を万全な体制で行う為に、予防接種の確認や人数制限など、皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解の上、ご参加をお願いしたいと思います。尚、今年には組合創設20周年工業団地創立25周年ですので、今迄以上に青年部会もテクノポリスを盛り上げます！

私事では、コロナ禍ということもあり、何もあまり大きなニュースが無かったな、という一年でした。しかしながら、昨年も様々な場面で多くの方に助けられ、新たなご縁も生まれたかと思えます。そんなご縁を自社の事業だけでなく、組合や青年部会、地域にも生かしていきたいと思えます。皆様方からは引き続きご指導を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。皆様のご健勝とご活躍をお祈りいたします。



第12回理事長杯ゴルフ大会 9社、24名参加



理事長杯(個人戦)
優勝 第11回に続き連覇!
小幡佳則さん(サイゼリヤ)
※新ペリア方式 グロス87 ネット71

●理事長杯(個人戦)					
敬称略	OUT	IN	グロス	HDCP	NET
優勝 小幡佳則(サイゼリヤ)	43	44	87	16.0	71.0
準優勝 林雅人(南関東日野自動車)	46	42	88	16.0	72.0
3位 近藤旭(マルシン)	46	50	96	24.0	72.0
4位 木皿孝則(オーム電機)	43	44	87	14.0	73.0
5位 鈴鹿武志(鈴鹿特殊合板)	41	48	89	16.0	73.0
ベストスコア 高橋昌男(東包印刷)	39	47	86		

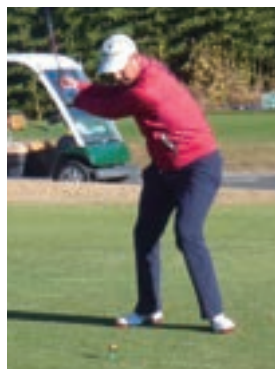
団体戦(企業対抗戦)

優勝

南関東日野自動車②チーム

(林さん・相澤さん・葛生さん)

●団体戦					
敬称略	トーナメント				
優勝 南関東日野自動車	林雅人	相澤年男	葛生祥大	281	
準優勝 東包印刷	高橋昌男	土井博雄	渡辺智子	309	
3位 オーム電機	木皿孝則	小川学	榎本悠樹	323	



11月28日(日)クリアビューゴルフクラブ&ホテルにおいて9社24名参加で開催いたしました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から昨年は中止とし2年振りの開催となりました。今回は新型コロナウイルス感染対策を講じ、ワクチン2回接種者などの参加資格要件を定め感染対策に万全を期した状況で開催いたしました。

当日は前日の強風も止み、コンディション良好のなかで参加者はプレーすることが出来ました。



11月29日(月)旭地区センター研修室でインフルエンザ予防接種を19社 211名の方に受けていただきました。

今シーズンはインフルエンザの流行予測もあり、BCP対策の一環として、また今年度は各種行事を開催していないため、その分の予算をインフルエンザ予防接種の費用の一部に充てました。

インフルエンザ 予防接種実施



東埼玉テクノポリス協同組合 青年部 主催 第14回 バドミントン大会のご案内

◆日時 **2月20日(日)** 9:00 集合(9:30試合開始)

◆会場 **旭地区センター体育館**
埼玉県吉川市旭6-4

◆会費 **1組 1,000円**
当日、会場にて受け付けます。



◆募集対象 **ダブルスのみ(男女混合ペア可)**
※シングルスは実施しません。なお、ペアが組めない方も単独でお申し込みいただけます。事務局にて調整致します。
当日はリーグ戦の後、休憩を挟み順位ごとのトーナメントを各コートで行います。

◆申し込み **2/4(金)**までにFAXまたはメールでお申し込みください。
東埼玉テクノポリス協同組合 青年部 周宛
FAX:048-991-1001 MAIL:g-syu@momotaro.co.jp

◆持ち物 ラケット、体育館シューズご持参ください。

◆参加資格案 【下記のいずれかで可】
・新型コロナウイルス予防ワクチン(モデルナ、ファイザー、アストラゼネカ製のいずれか)をプレイ当日2週間前までに2回接種し、シールの貼った接種券もしくは接種記録書を当日持参の方(コピーや携帯写メ可。但し氏名と接種が証明出来る箇所(シール欄等)が写っているようにお願いします。)
・当日1週間以内のPCR検査の陰性証明書を当日持参の方

●会場に駐車場はございますが、他利用者もおりますのでなるべく各社乗り合わせで来ていただくようお願いいたします。

二郷半駐車場利用 募集のご案内

二郷半駐車場のAブロック(野田橋に一番近いエリア)に約30台の空きがあります。駐車場不足の企業にぜひ利用頂きたいと願います。

【お問い合わせ・お申込みは、事務局 上田まで TEL:048-991-1600】